

## 液晶画面について

電源プラグをコンセントに挿入すると、液晶画面が点灯します。この状態を**待機状態**といいます。待機状態から何もせずに4分間経過すると、**省電力状態**になります。省電力状態では全てのランプが消灯し、液晶画面が暗くなります。いずれかのスイッチを押

すと、待機状態に戻ります。

また、待機状態からレンジスイッチを押すと、選択したレンジの表示と用途が交互に液晶画面に表示されます。この状態を**レンジ表示状態**といいます。

		用途	レンジ表示状態での表示 (液晶画面の色)	pHの目安	
電解水素水	水素水強	調理用	水素水 強 (調理) (青色表示) 交互に表示	煮物 アク抜き 	9.0~10.5
	水素水3	飲用	水素水 3 (飲用) (青色表示) 交互に表示	飲用 お茶 コーヒー 	8.5~9.9
	水素水2	飲用	水素水 2 (飲用) (青色表示) 交互に表示	飲用 炊飯 	8.0~9.5
	水素水1	飲用	水素水 1 (飲用) (青色表示) 交互に表示	初期飲用 	7.5~9.0
浄水		飲用	浄水 (薬・ミルク) (緑色表示) 交互に表示	薬  ミルク 	電解なし
酸性水	洗顔	洗顔用	酸性 (洗顔) (橙色表示) 交互に表示	洗顔 	4.5~6.8
	洗い物	洗浄用	酸性 (洗い物) (橙色表示) 交互に表示	洗い物 	3.5~5.5

※pHは水質 (地域、季節、水温)によって異なります。

### 待機状態での表示



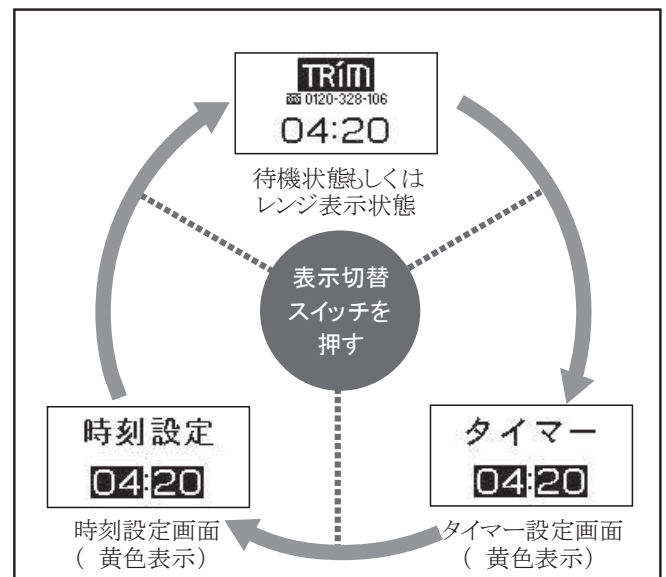
(白色表示)



省電力状態  
(消灯)


### タイマー、時刻の設定

待機状態もしくはレンジ表示状態で表示切替スイッチを押すと、右図のように液晶画面が切り替わります。  
⇒タイマー、時刻の設定中およびタイマー動作中はレンジスイッチを切り替えられません。



## [ タイマーの設定 ]

液晶画面をタイマー設定画面にしてから、時(分)、分(秒)スイッチでタイマー時間(分、秒)を設定し、スタートスイッチを押してください。スタートランプが点灯し、カウントダウンが始まります。0秒になるとブザー音とともにタイマー動作が終了し、スタートランプが消灯します。




タイマー設定画面 時分スイッチ、スタートスイッチ (コントロールパネル)

⇒タイマーを途中で止めたい場合は、スタートスイッチを押してください。  
⇒設定範囲は00 01～59 59です。  
⇒時(分)、分(秒)スイッチは長押しすると、早送りになります。

## [ 時刻の設定 ]

液晶画面を時刻設定画面にしてから、時(分)、分(秒)スイッチで時刻を設定し、スタートスイッチを押してください。時刻が0秒スタートとなります。

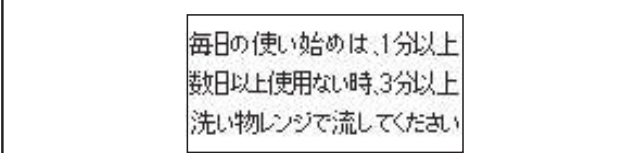


時刻設定画面 時分スイッチ、スタートスイッチ (コントロールパネル)

⇒時刻は24時間表示です。  
⇒時(分)、分(秒)スイッチは長押しすると、早送りになります。

## 使い始め表示

各レンジスイッチを押した時に液晶画面に下図が表示される場合があります。表示内容に従ってください。




毎日の使い始めは、1分以上  
数日以上使用しない時、3分以上  
洗い物レンジで流してください

使い始め画面

## 水素量、通水量


電解水素水を生成中は液晶画面に水素量(目安)または毎分あたりの通水量が表示されます。水素量と通水中の表示は表示切替スイッチを押すことで切り替わります。



⇒水素量とは、溶け込んでいる水素ガスの濃度を示す値です。  
例) 250ppbは1リットル中に250 $\mu$ gの水素ガスが溶け込んでいます。  
⇒水素量は電解条件により算出した推測値です。  
⇒通水量とは取水量と排水量の合計です。

## 積算通水量、積算時間

積算通水量、積算時間はレンジ表示状態もしくは通水中にレンジランプが点灯しているレンジスイッチを押すと、5秒間液晶画面に紺色で表示されます。



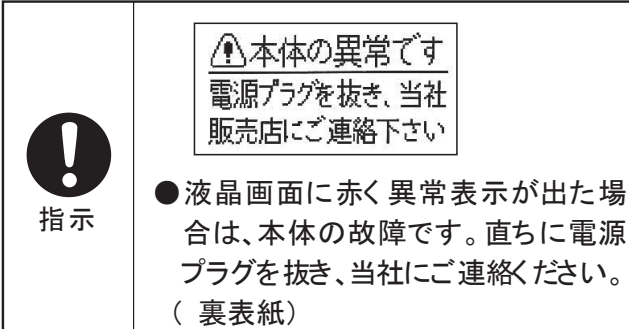
積算通水量 8200ℓ  
積算時間 5600h

積算通水量画面

⇒酸性のレンジスイッチでは表示されません。  
⇒電源コードを抜き差しすると、正確に計測できません。  
⇒積算通水量は100リットル単位、積算時間は100時間単位です。

## 異常表示

通水中、ブザーと共に赤く表示されます。



●液晶画面に赤く異常表示が出た場合は、本体の故障です。直ちに電源プラグを抜き、当社にご連絡ください。(裏表紙)

## 取水の仕方

[ まず、次のことを確認してください。 ]

●電解水素水／浄水の毎日の使い始めは、酸性の洗い物レンジで本器に通水してください。

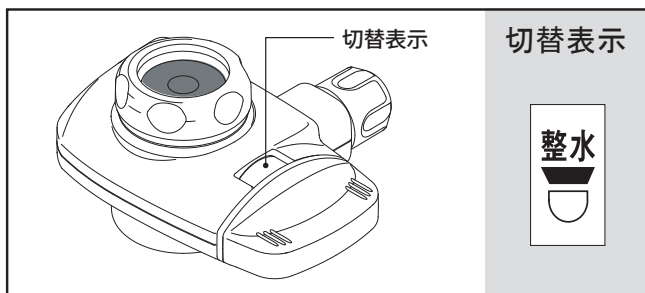
- ①P.1の「安全上のご注意」をよく読みましたか？
- ②全てのホース及びコードが正しく確実に接続され、容易に外れないようになっていますか？
- ③全てのスイッチが、正常に作動しますか？
- ④浄水カートリッジおよび乳酸カルシウムが正しくセットされていますか？
- ⑤しばらく使用しなかった場合は、上記の①～④を行い、本器が正常に、かつ、安全に作動することを確認してください。

(1) 使用したいレンジスイッチを押します。

		用途例	pHの目安
電解水素水	水素水強	調理用、煮物、あく抜きなどに	9.0～10.5
	水素水3	飲用、コーヒー、お茶、鍋物、汁物などに	8.5～9.9
	水素水2	飲用、お米を炊くとき	8.0～9.5
	水素水1	飲用、初めて飲むとき	7.5～9.0
浄水		飲用、薬の服用、乳児のミルク用	電解なし
酸性水	洗顔	洗顔用 (肌に近い酸性です)	4.5～6.8
	洗い物	食器などの洗浄用	3.5～5.5

※pHは水質 地域、季節、水温)によって異なります。

(2) 分岐水栓を「整水」に切り替えてください。




(3) 蛇口を開いてください。通水してから2～3秒後に安定した水が出てきます。

	通水中の表示	通水中の音楽	排水の状態
電解水素水	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     水素水 3  <small>(飲用)</small>                      水素量 250 ppb                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     水素水 3  <small>(飲用)</small>                      通水量 3.5 ℓ/分                 </div> 水素量または通水量を表示します。 ( P.21)	メロディ音	酸性の排水が出てきます。 ※飲用できません
浄水	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     浄水 (薬・ミルク)                      通水量 5.1 ℓ/分                 </div>	無音	節水のため、少なくなります。
酸性水	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     酸性 (洗顔)                      通水量 5.1 ℓ/分                 </div>	ブザー音	アルカリ性の排水が出てきます。 ※飲用できません

※連続で本器に通水した場合、レンジ表示が点滅し、レンジが下がる場合があります。

(4) 使った後は蛇口を閉じ、分岐水栓を「原水」もしくは「シャワー」に切り替えてください。

※使った後は4分後に自動的に待機状態、さらに4分後に省電力状態に戻ります。



指示

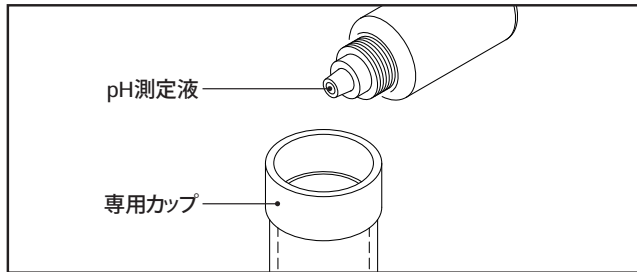
- 通水量が多過ぎるとブザー音がして液晶画面に  

《ご使用のレンジ》  
 蛇口を開いてください

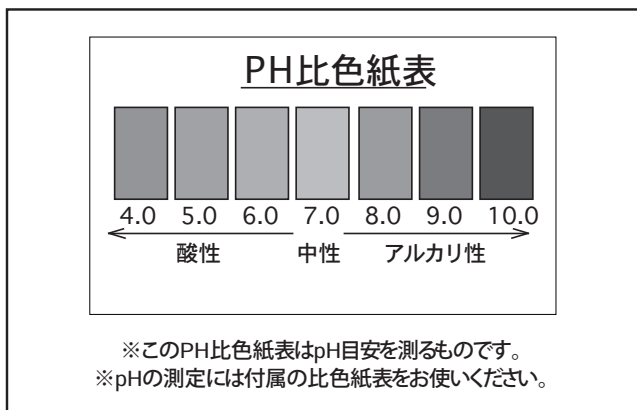
 が赤色で表示されます。
- 電解水素水中に白い物が浮いたり、電解水素水を入れたポット等の容器に白い付着物がつく場合がありますが、水中に含まれるカルシウムが出てきたものです。飲んで問題ありませんが気になるようでしたらレンジを下げてください。

## 電解水素水pH濃度の測定方法

- (1) 専用カップに電解水素水を8分目まで入れてください。
- (2) pH測定液を専用カップに1滴落としてください。



- (3) 変色した電解水素水をPH比色紙表と比較してください。pH9.5 (PH比色紙表9.0~10.0の間の色)が飲用に適しています。測定に使用した水は、飲まないでください。



### お知らせ

- 飲用範囲は電解水素水レンジでpH10未満のレンジと浄水です。
- pHは、水質 (地域・季節・水温) や本器への通水量などで変わります。電解水素水を飲用する時は、使用開始時および1ヵ月に1回以上、pHの測定を行い、pH9.5 (PH比色紙表9.0~10.0の間の色) であることを確認してから飲用してください。
- 初めて飲用する方は、水素水1で少量から飲用してください。
- pH測定液を目に入れたり、飲んだりしないでください。pH測定液は必ずふたをして、乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、火気には近づけないでください。

## 生成水の使用方法

### 電解水素水

- レンジは4段階あります。水素水1、水素水2、水素水3、水素水強の順にpH濃度が高くなります。
- pH10以上の水は飲用しないでください。
- pH9.5 (PH比色紙表9.0~10.0の間の色) が飲用に適しています。
- 初めて飲用する方は水素水1で少量から飲用してください。
- 1日あたり500ミリリットル~1000ミリリットル程度を目安に飲用してください。
- 電解水素水は、取水後なるべく早く飲用してください。また、電解水素水を保存する場合は、清潔なペットボトル等の密閉容器に入れ冷蔵庫で保存し2日以内に飲用してください。

### 酸性水

- レンジは2段階あります。スイッチを押すごとに洗顔、洗い物が切り替わります。
- 酸性水は飲用しないでください。
- 洗顔用や食器などの洗浄用として使用してください。
- 酸性水を保存する場合は、清潔なペットボトル等の密閉容器に入れて保存し、2日以内にご使用ください。

### 浄水

- 浄水は水道水をろ過した不純物の少ない水です。電気分解はしていません。
- 薬の服用時の水、乳児のミルク用の水として使用してください。
- 浄水を保存する場合は、清潔なペットボトル等の密閉容器に入れ冷蔵庫で保存し、2日以内に飲用してください。

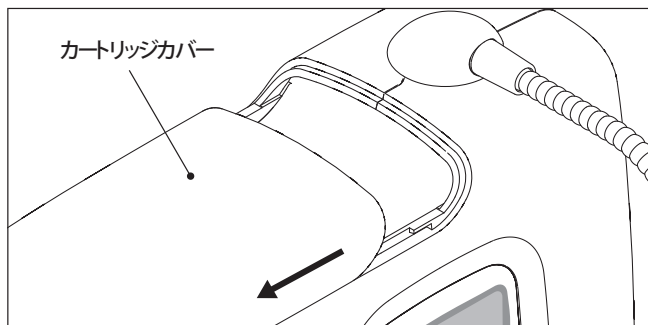
### お知らせ

- 5分以上の連続通水をした場合、レンジ表示が点滅し、レンジが下がる場合があります。
- バルブモーター回転時に通水すると、液晶画面とブザー音でお知らせすることがあります。
- 生成水の使用につきましては、必ずP.1「安全上のご注意」を併読のうえ、ご使用ください。

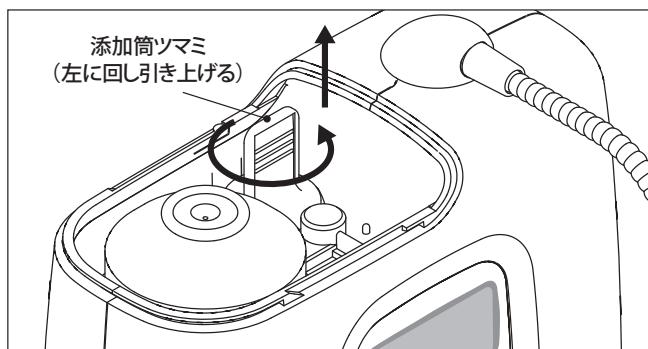
## 乳酸カルシウムの添加方法

※乳酸カルシウムは、電気分解を促進するための補助剤です。

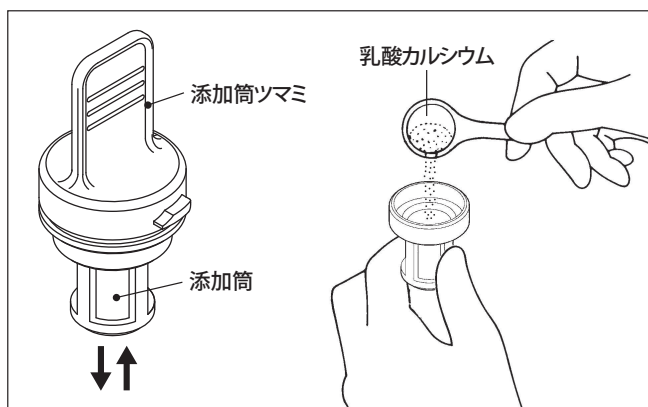
(1) カートリッジカバーを左へスライドさせ、取り外します。



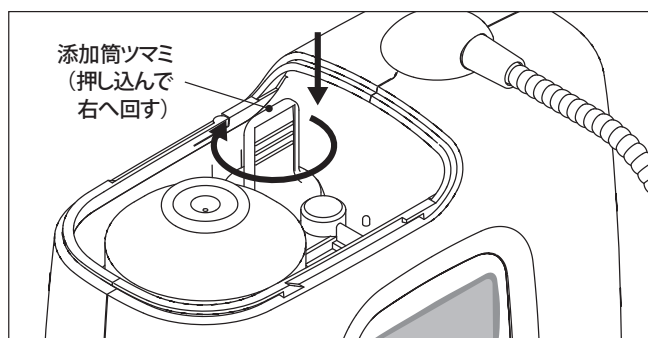
(2) 添加筒ツマミを回し添加筒を取り出します。



(3) 添加筒に八分目程、付属の乳酸カルシウムを入れます。



(4) 添加筒をセットした添加筒ツマミを、本体に取り付けます。この時、添加筒ツマミのOリングはみ出しやゴミ等の付着がない事をご確認ください。水漏れの原因となります。



## 浄水カートリッジの交換方法

浄水カートリッジが交換時期になると、液晶画面に



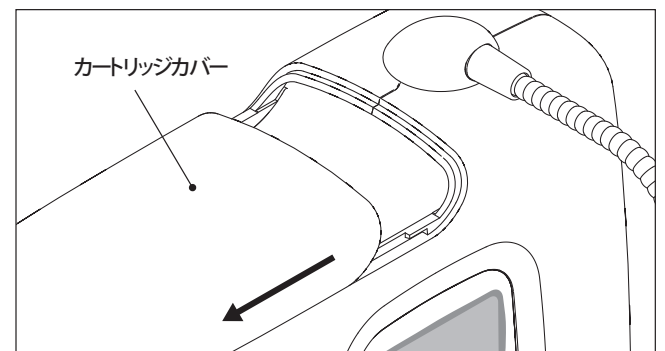
が赤色で表示されます。

次の順序で新しいカートリッジに交換してください。  
※交換用カートリッジと乾いた布等をご用意ください。

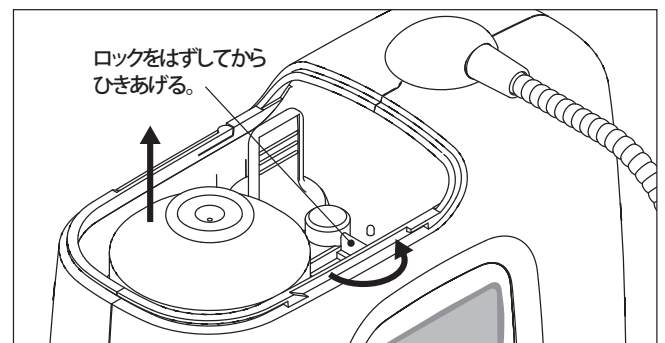
カートリッジや本体から水が出ます。

(1) 蛇口を閉じてください。

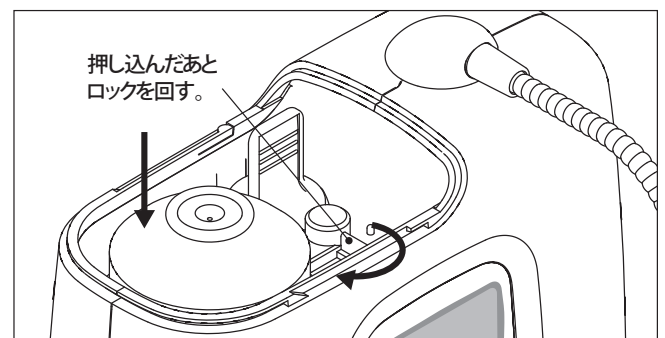
(2) カートリッジカバーを左にスライドしてはずしてください。



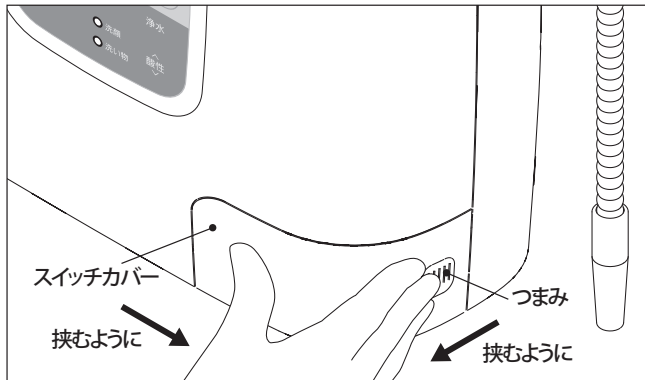
(3) ロックを外し、カートリッジを引き上げてください。この時、カートリッジから水が出ます。本体に水がかかった場合は、乾いた布等で拭き取ってください。



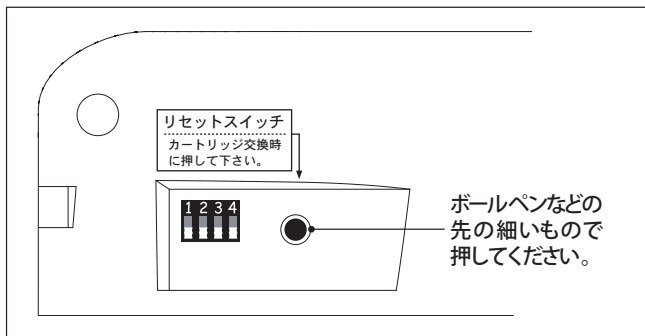
(4) 新しいカートリッジを差し込みロックしてください。この時、本体内部から出た水は、乾いた布等で拭き取ってください。また、ロックが不十分だと水漏れの原因となります。




- (5) カートリッジカバーをはめてください。  
 (6) 本体右下のスイッチカバーを挟むようにし、つまみを押しながら手前(または横)にずらしてスイッチカバーを外してください。



- (7) レンジランプが点灯していることを確認して、本体スイッチポケットのリセットスイッチを押してください。  
 ●液晶画面の「カートリッジ交換」表示が消えます。  
 (積算通水量および積算時間が0に戻ります。)



- (8) スwitchカバーをはめてください。  
 (9) 酸性の洗い物レンジで約5分間通水の後、ご使用ください。

 <b>指示</b>	<p>●カートリッジ交換後の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>必ずリセットボタンを押してください。積算通水量と積算時間が0になります。</li> <li>酸性の洗い物レンジで約5分間通水してください。(P.6)</li> </ul>
--	---

●乳酸カルシウムや浄水カートリッジ等の消耗品は、当社までご連絡ください。(P.30)  
 また、カートリッジの交換等でご不明な点がありましたら、当社にご相談ください。(裏表紙)

### [ 長期間使用しないとき ]

- (1) 蛇口を閉じてください。  
 (2) 分岐水栓の切替レバーは原水またはシャワーにしてください。  
 (3) 乳酸カルシウム添加筒を取り出し、洗ってください。  
 (4) 数日間以上使用しなかった後再度使用し始める時には、酸性の洗い物レンジで通水後、電解水素水に戻してから飲用してください。(P.6)

### 過熱休止について

本器には安全装置として過熱防止装置が搭載されています。

電解水素水または酸性水を長時間連続して使用すると本体内部の温度が上昇し、過熱防止装置が働く場合があります。過熱防止装置の作動中は下図が液晶画面に赤色で表示されます。



この場合は通水を止め、使用を中断してください。過熱休止表示が消えます。

2分間の過熱休止時間が終了すると、使用を再開することができますが、本体内部の温度が下がってくるまでお待ちください。

⇒浄水は問題なく使用できます。

### 乳酸カルシウムについて

乳酸カルシウムは、電気分解されにくい水(井戸水やわき水など)の場合に使用します。詳しくは、当社にお問い合わせください。(裏表紙)